

第28回岩手県勤労者美術展 第13回親子ふれあい写真展

開催期間 2009年11月19日(木)～22日(日) 於：盛岡市民文化ホール・展示ホール

〈〈絵画の部〉〉 出展数 49点 審査員：及川 久氏

総 評

具象作品には描写力の差があり、描く物がはっきりしていないし、描けていないものが多い。抽象作品数が少なかったが、頑張っている様子がうかがわれる。更なる研究に期待します。

岩手県知事賞



作品名『桜の頃』

すずき つや子 氏 (盛岡市)

桜の古木の力強さに対し、遠景と草原のやさらかさ風を感じさせる。

また、桜の花のとらえ方・描写が非常に良く表現されている。

優 秀 賞



作品名『石灰工場夕景』

つじ せい いち 氏 (奥州市)

石灰工場が堅実な描写力によって描かれており、時間と光によって、より一層画情を深めている。

奨 励 賞



作品名『侍石を望む』

さ さ き きみえ 氏 (八幡平市)

海・波の「動」と悠久的に変化しない岩場の「静」のおりなす自然美を堅実な描写によってその画情を一層高めている。

奨励賞



作品名『思考空間-「青」』

さとう えいこ
佐藤 英子 氏（奥州市）

形態・配色、そしてそれぞれの大小のバランスが良く、
物語のストーリーや場面が浮かぶ良い作品。

佳作



作品名『冬の詩』

あべ みつこ
阿部 實子 氏（盛岡市）

朝の光のやさらかさと雪の原野の情景を林の影によって
良く表現されている。
色も良い。



そまうり
作品名『柚売と旅法師と下人のものがたり』

あさぬま まさお
浅沼 正夫 氏（滝沢村）

映画の一場面を思わせる朽ちた物と背景の色の組み合わせが的確に表出されている。



作品名『幻の氷像』

なつ井 ふみ
夏井 ふみ 氏（久慈市）

擬人化された氷柱ではあるが、そこに冷と暖があり、そ
して、うごめく音が、語らいが聞こえてくる作品。